

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスもりびた

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026年

3月

11日

法人（事業所）理念		子どもが「まんなか」です。支援の中心はお子さまで、支援の根っこはお子さまらしくあれることです。私たちは、周囲や社会のためではない、その子がその子らしくあれるために必要な支援と環境を考えます。誰のためか？その課題は誰のものか？誰が困っている（困る）のか？私たちが寄り添う課題や困りは、誰かのものではなく目の前の子どもたちでありたいと考えています。そのために、保護者の皆さまとともに、関係機関、医療、専門機関、地域の方々、かけがえのない支援者の皆さまとコミュニケーションを取り、協力をいただきながら、子どもたちが自分らしくあれる環境と社会を一緒につくっていきます。		
支援方針		<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの選択と経験を見守る 2. 安心して自分らしさを表現できる環境設定 3. 多様な存在とともに過ごす 		
営業時間		平日 10時00分～18時00分（うち提供時間 10:00～13:00, 15:00～17:00） 土・休日 9時30分～17時30分（うち提供時間 10:00～16:00）	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	自然豊かな自然環境の中で、心と身体の声に耳を傾けた過ごし方を提案します。自分のやりたいことを行えるように、見通し伝えることで安心感を持ち、安全な環境の中で思い切り活動できるようサポートします。また、主体的な活動ができるように、一人一人の行動と特性を踏まえた細やかな対応をします。身辺自立においては、体験的な活動を通して、態度や習慣などの基礎的な概念を育て、日常生活とのつながりを重視した支援を行う。		
	運動・感覚	身体と心の発達に合わせた活動を行えるよう、環境を整えます。身体全体を使った活動は、幼少期の発達に直接的に関わる重要なものであることを認識し、五感の刺激を促し、安心して活発な活動ができるようにサポートします。		
	認知・行動	変化する自然の中で、興味・関心・感動をともなった経験のなかで発達に必要な学習ができるよう活動を設定します。子どもが自然を含む様々な事柄に対して興味を抱けるような動機付けを行い、実体験を通した学ぶ事の楽しさを獲得できるようにサポートします。		
	言語 コミュニケーション	言語の発達には、安心して関わることのできる大人との象徴遊びが密接にかかわっており、象徴あそびの発達には現実経験の豊かさが関わっています。子どもが安心して過ごすことができる環境で関わることができる大人とのやりとりをつみ重ね、言葉の発達と社会性を学びます。また、自発的な思考が必要となる道具を使う遊びや自然体験の活動を、大人や他児を共有する中で、豊かな表象遊びに発展できるよう活動を組み立てます。		
	人間関係 社会性	自然とのふれあいや集団活動を通して、他者との相互の関わり合いを持たせ、社会性を育て、コミュニケーションを広げていきます。森や庭という広い空間を使い、お互いが心地よい距離を保ちながら他児を観察したり模倣したりしながら様々な事柄への関心を広め、他者と関わる楽しさを学べるよう環境を設定します。大人がすぐ傍にいる小集団であることの利点を生かし、他児とのやりとりにおける葛藤や他者理解を学んでいきます。		
家族支援		積極的に保護者様との面談機会を設け、お子さまに対するご家族の思いを尊重しながら、一緒に考えていけるよう、連絡の取りやすい連絡ツールと対面併用による相談体制を活用し、ご家族をサポートします。	移行支援	各機関との連携会議を実施し、情報共有に取り組みます。お子さまにとって、生活する場所や環境がより良いものになるように働きかけます。
地域支援・地域連携		近隣の小学校の学校林の活用や生徒と施設の交流などを定期的に行い、連携を行っています。自然豊かな地域の環境を活かし、地域に解放したイベントも定期的に行っています。	職員の質の向上	オンラインの職員研修システムを活用し、子どもの発達について専門的に学べる環境を整えています。また、心理士によるスーパーバイズを行っています。定期的な研修やオンライン甲州など、積極的に学びの機会を創出しています。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の事業所オープンデー、月1回の交流イベント ・羊の受け入れ（夏季長期休み期間） ・外部講師による自然体験活動や樹木医監修のもと植樹や樹木の活用など年間を通した活動を実施 		